

【平成22年度横手市終期到来補助金に関する最終方針】

H22 対象 事業 No	補助金等の名称	交付目的	補助事業等の内容	所管課	H21年度 実績額	担当課方針 (審査会前)	補助金審査会			最終方針 (今後の取り扱い等)	H23年度 予算額 (単位:円)	参考		
							評価点	審査結果	付された意見等					
1	非公営水道水質検査補助金	非公営水道の安全な水の安定供給を図る。	定期的水質検査にかかる検査料の一部を補助	保健衛生課 (横手・雄物川地域局)	1,352,000	継続	非公営水道組合に対し、補助金の終期を説明し、各組合自ら水道事業を運営していくように促していく必要がある。また、全ての組合が横手市水道計画内にあり、水道への加入について促していくよう水道担当と連携していく必要がある。	17	条件付 継続	・“安全な水”に視点を置くのであれば、組合が自主的に運営費で一人立ちできるよう指導すべき。 ・仮に地下水汚染が懸念される地域であれば、行政が水道管の布設を含め、上水道へ切り替えを促すべき。	継続	・組合が自主的に運営できるように5年間で指導していきたい。 ・旧簡易水道組合及び旧小規模水道組合を含む公共水道未普及地域については、地域要望を把握しながら公共水道の未普及地域の解消に向け、横手市水道事業整備計画に基づき、今後も計画的に整備を進める。仮に急激な水質の悪化や水量の低下により水に困窮する地域が発生した場合には、地域要望を把握した上で、事業計画を見直すなど、早期の整備に努めていく。	1,813,000	対象地域:横手地域、十文字地域、雄物川地域
2	地区活性化イベント補助金	地域の産業・文化の振興と交流を図り、地域の活性化を推進する。	式典、即売、各種イベント等	農業政策課 (平鹿地域局)	200,000	継続		18	条件付 継続	・イベントとして定着しつつあるので、行政主導を脱却し、生産者サイドが主役になるよう工夫すべき。	継続	・生産農家、地域自治体、JA等が積極的に参加する機運があり、産業振興はもとより今後は地域づくり事業としての機能を持ち合わせながら、実行委員会が自主的に運営できるように指導支援していきたい。	200,000	
3	観光協会等事業補助金	観光協会等の運営の推進を図ることにより横手市の観光の発展を図る。	観光協会等が行う事業にかかる経費の一部補助	観光物産課	25,944,000	継続		17	条件付 継続	・積極的な見直しが必要。 ・8地域をカバーする観光連盟の育成・強化を早期に図って、観光行政の一翼を担える団体にしてほしい。 ・観光連盟が、事務局を置いて、年間を通じて全域のイベントや行事を行なう体制が必要。 ・各地域の観光協会は、事務局すら一人立ちできておらず、団体のあり方を見直すべき(職員が事務局を兼ねている現状)	継続	・観光連盟については横手市全体の観光の一翼を担えるよう育成し、各観光協会との連携を深めていきたい。 ・市職員が事務局を兼ねている観光協会の現状については、観光連盟の育成と同時に、事務局体制のあり方を含め検討する。	44,454,000	【内訳】 単位:千円 横手 27,322(祭り含む) 平鹿 3,679 大森 886 雄物川 127 十文字 886 増田 3,348 増田(物産) 3,800 山内 101 連盟 4,305 予算額は昨年並み
4	桜まつり補助金	桜まつりの実施により横手市の観光振興を図る。	桜まつりの実施にかかわる諸経費の一部補助	観光物産課	470,000	継続		16	条件付 継続	・事業費やニーズについて精査が必要。	継続	・各地域の「桜まつり」実施主体との調整を図りながら、横手市全体の桜まつりの実施を検討していきたい。	0	横手市観光協会補助金に統合
5	送り盆まつり補助金	送り盆まつりの実施により横手市の観光振興を図り、また伝統行事としての伝承及び保存を目的とする。	送り盆まつりの実施にかかわる諸経費の一部補助	観光物産課	10,095,000	継続		19	条件付 継続	・事業費の適正について、委員の半数以上が疑問を持っている。精査が必要。 ・公金投入の妥当性について検討してほしい。	継続	・秋田県指定の無形民俗文化財である伝統のまつりを継承しながら、観光客を呼び込むために活動している実施団体への補助金であるが、事業費については今後も引き続き精査していく。	0	横手市観光協会補助金に統合
6	菊まつり補助金	菊人形まつりの実施により横手市の観光振興を図る。	菊人形まつりの実施にかかわる諸経費の一部補助	観光物産課	5,000,000	継続		15	条件付 継続	・実施方法など見直してほしい。 ・事業費及び補助金額の妥当性の十分な検証が必要。	継続	・開催場所としては秋田ふるさと村の企画との相乗効果も大きく、もっとも相応しい場所と考える。今後、実施団体と協議しながら実施方法や事業費を検討していく。	0	横手市観光協会補助金に統合
7	かまくら・ぼんでん補助金	かまくら・ぼんでんの実施により横手市の観光振興を図り、また伝統行事としての伝承及び保存を目的とする。	かまくら・ぼんでんの実施にかかわる諸経費の一部補助	観光物産課	7,150,000	継続		21	継続	・事業費や事業のあり方について見直しが必要ではないか。	継続	・横手市を代表するまつりとして、市と横手市観光協会が連携してまつりを作り上げている。事業実施方法や経費について双方で協議して検討していく。	0	横手市観光協会補助金に統合
8	横手ばやし保存育成事業補助金	横手ばやしの保存を目的とし、伝統芸能としての後継者の育成及び保存活動の強化を図る。	横手ばやしの保存にかかわる諸経費の一部補助	観光物産課	47,000	継続		16	条件付 継続	・類似する団体が他にも存在しているので、あり方について全体で検討してほしい。 ・実質、町内会に補助するような形を変える必要があるのではないか。	継続	・市内には横手ばやしに限らず、他の類似団体も数多く存在している。市からの支援状況なども調査したうえで、今後の対応方針を決定していく。	0	横手市観光協会補助金に統合
9	ぼんでん唄コンクール補助金	ぼんでん唄コンクールの実施により、ぼんでん唄の伝承及び「ぼんでん」の誘客・宣伝を図る。	ぼんでん唄コンクールの実施にかかわる諸経費の一部補助	観光物産課	47,000	継続		19	条件付 継続	・事業効果の個別評価では、認められる意見とそうでない意見とが2つに分かれた。 ・事業効果の検証が必要。	継続	・かまくら・ぼんでんのまつり事業の一環として行われているぼんでん唄コンクールなので、かまくら・ぼんでん補助金と統合出来るように検討する。	0	横手市観光協会補助金に統合

H22 対象 事業 No	補助金等の名称	交付目的	補助事業等の内容	所管課	H21年度 実績額	担当課方針 (審査会前)	補助金審査会			最終方針 (今後の取り扱い等)	H23年度 予算額 (単位:円)	参考		
							評価点	審査結果	付された意見等					
10	へらぶな放流事業補助金	へらぶな放流事業の実施を行なうことにより、放流場所である横手公園内の誘客を図る。	へらぶなの放流にかかわる諸経費の一部補助	観光物産課	102,000	継続		15	条件付継続	・内容について検討してほしい。 ・ニーズが低いと思われる。廃止提案者も8人中2人いた。	継続	・愛好家の全国版の雑誌で紹介されるへらぶな釣りの名所として横手公園の知名度アップに貢献している。 ・年間の釣り客数等補助団体と協力しながら調査を行い、効果の検証に取り組む。	120,000	へらぶな釣り大会補助(H21実績54,000円)と放流補助(H21102,000円)を統合
11	横手まちの案内人補助金	横手まちの案内人ふきのとうの会の運営の推進を目的とし、横手市の案内人としての活動を助成することにより観光の振興を図る。	横手まちの案内人の活動にかかわる諸経費の一部補助	観光物産課	245,000	継続		21	継続	・評価点は“継続”であるが、個別の判定では、“事業費の適正”に関する評価が低い委員もいたため、検証が必要と考える。	廃止	【方針転換・直営により実施】 ・駅前Y2プラザ観光情報コーナー開設に伴い、土日は常駐し活動していただく方針。 ・団体の自主性を尊重し行政は、一部予算面での支援程度に留めたい。 ・こうした民間の観光案内組織の育成が重要と考えている。	0	市から60万/年の謝礼交付。団体とは調整済。
12	よこての全国線香花火大会補助金	子ども達のまつりを国産の線香花火で演出する。また、中心市街地の活性の一助と位置づけながら、観光振興を図る。	大会実施にかかわる諸経費の一部補助	観光物産課	1,022,000	継続		16	条件付継続	・判定結果として全体的に評価が低く、事業効果と事業費の適正について評価が低かった。 ・話題性だけでなく、事業効果があるのか検証すべき。	継続	・自主財源の確保に努めるよう団体側と調整する。 ・夏休みの子供たちの思い出づくりの場となっており、市内全域の子供たちが集うことによって、事業効果は拡大していくものと思う。団体へは子供たちへの情報発信を強化していただくよう要請する。	1,022,000	
13	物産協会補助金	物産協会の活動に対する支援で物産振興を図る。	活動費の一部補助	観光物産課	100,000	継続		18	条件付継続	・4団体を統合して、効果的な事業ができるようにしてほしい。	継続	・22年度中に、物産連絡協議会を立ち上げ、その場で各団体の長と調整を行い、市としても統合の方向で進める。	200,000	
14	あやめ杯民謡大会補助金	あやめまつりの実施と合わせて民謡大会を開催し平鹿地域の観光振興を図る。	民謡大会の実施にかかわる諸経費の一部補助	観光物産課	273,000	継続		17	条件付継続	・公金投入の妥当性に疑問を感じる委員もいた。 ・自主的に運営できる方法を模索してほしい。	継続	・近隣市町村でも例を見ないほどの参加者があり、この大会が民謡界で名をはせる登竜門の大会ともなっている。横手市をPRする上でも効果的な大会といえるが、今後は自主財源の確保に努めるよう団体側と調整する。	273,000	
15	いものこまつりin鶴ヶ池実行委員会補助金	生き生きと活力ある村づくりを目指すとともに、山内いものこを始めた農産物の宣伝販売し、地域産業の振興を図る。	いものこまつりin鶴ヶ池開催に係る経費の一部補助	観光物産課	3,407,000	継続		20	条件付継続	・補助金額が適正なのか(多すぎないか)検討してほしい。	継続	・実行委員会と協議して、実施内容や経費について精査していく。	3,407,000	
16	サマーフェスティバル事業補助金	大森地域を明るくし、地域に元気をもたらすことを目的とする。	大森サマーフェスティバル事業費	観光物産課	1,363,000	継続		19	条件付継続	・事業費が適正なのか(多すぎないか)検討してほしい。	継続	・地域の元気づくりのためのイベントであり、定率補助へ移行した上で、継続させていきたい。	1,363,000	
17	秋田スカイフェスタ補助金	熱気球大会を開催することにより、人的交流を促進し地域をPRすると共に地域の活性化を図る。	バルーンフェスタ運営費	観光物産課	204,000	継続		19	条件付継続	・委員評価が分かれた(継続4人・条件付継続4人) ・条件付継続として委員は、長年実施してきたことを踏まえて、今後のあり方や支援の仕方を十分に検討が必要との意見。	継続	・団体の自主性を尊重し行政は、一部予算面での支援程度に留めたい。実行委員会としても、今後の運営方法等について検討を重ねている。	300,000	
18	イベント開催補助金	大森地域内の若手グループによるイベント開催に対し助成を行い、地域の活性化を図る。	ワインパーティー開催とグラウンド・ゴルフ大会に対する一部助成	観光物産課	76,000	継続		17	条件付継続	・ニーズや公金投入の妥当性について、検討が必要。	廃止	【方針転換・廃止】 地域や団体とも協議し、個人の参加費等を上げることにより(他地域の類似イベントと比べると参加費が半額)開催可能であるため、23年度から補助金は廃止とする。	0	
19	元祖たらいこぎ選手権大会運営費補助金	伝統イベント行事を通じ、町内外の交流人口を増強し、商店街等の活性化を図ることを目的とする。	元祖たらいこぎ選手権大会に係る運営費の一部補助	観光物産課	647,000	継続		21	継続	・審査会としての判定は“継続”であるが、個別の評価では、事業費の適正についてやや低評価だったため、今後の支援の仕方等検討してほしい。	継続	・団体の自主性を尊重し行政は、一部予算面での支援程度に留めたい。実行委員会としても、今後の運営方法等について検討を重ねている。	647,000	

H22 対象 事業 No	補助金等の名称	交付目的	補助事業等の内容	所管課	H21年度 実績額	担当課方針 (審査会前)	補助金審査会			最終方針 (今後の取り扱い等)	H23年度 予算額 (単位:円)	参考		
							評価点	審査結果	付された意見等					
20	香港等秋田フェア 補助金	香港等で秋田物産展 を開催し、海外からの 誘客促進や横手市の 観光振興を図る。	香港等で開催する秋田 物産展にかかる諸経費 の一部補助	観光物産課	682,000	継続		16	条件付 継続	・市単独で実施しても効果は生まれな いと思われる。他の手法も検討するこ と。 ・販売促進なのか知名度の向上なの か、ねらいを明確にするべき。	廃止	【方針転換】補助金は廃止し直営で実施 (H23) ・海外への物販は、商品のグレードアップに 大きく貢献しており、国内販売への効果にも 大きく貢献している。販路拡大のためには、 香港に限らず、他国へのプロモーションも必 要となってきたり、市が主体となり、観光協 会とも連携しながら取り組んでいく。	0	
21	横手市大森町グ リーン・ツーリズム 推進協議会補助金	都市住民との交流を 推進し、地域物産の販 売促進や観光振興を 図る。	都会からの農作業体験 受け入れや、東京物産 展等にかかる経費の一 部補助	観光物産課	273,000	継続		20	条件付 継続	・農村都市として、この資源を積極的に 売りだすべき。 ・事業費が適正なのか(少ないので は。)検証してほしい。 ・まずは、大森地域内で広げ、全市の 取り組みとしてほしい。今後に期待した い。	継続	・グリーンツーリズムの推進は観光部門だけ でなく農政部門との連携が必須であり、次年 度以降は農政部門に所管替えを行い、観光 部門等と連携することで、積極的に団体を支 援していきたい。	273,000	
22	街なみ環境整備費 補助金	羽黒町上内町地区に おける板塀、生け垣の 設置に対して補助する ことにより、歴史的街 並みの雰囲気と保全 し、住環境の整備を図 る。	住民等で、地区内に外 構、板塀、生け垣を設 置する場合に補助	都市計画課	250,000	継続	今年度と来年度の 2か年で景観計画を 策定することとして おり、現在の景観条 例や申し合わせ事 項についても新たな 景観計画・景観条例 に移行することとし ているので、新条例 制定まで継続するこ ととしたい。	19	条件付 継続	・歴史的な景観が保全できることから も、補助金交付の意味は大きく継続し ていくべき。 【景観保全への意見】 ・横手市の財産であることを市民が共 有できるようPRが必要。 ・街なみ保全も大切であるが、そこに人 が住み続けることも大切であり、景観 条例を策定するにあたり、工夫や検討 をしてほしい。	継続	・平成22～23年度で策定中の、横手市景観 計画の内容や政策に合わせた補助金制度 の内容になるよう検討してゆく。 ・市民共有の資源や財産であることや、居住 環境の向上になること、次の世代に残すこ とが大切なことなどの周知に努めてゆく。	250,000	
23	横手やきそば研究 会補助金	市民団体等が実施す るまちおこし活動等 を通し、地域の活性化 を図る。	横手やきそば研究会が 行う事業にかかる経費 の一部補助	観光物産課	70,000	継続		20	条件付 継続	・事業効果等、評価できるが一方で自 主運営ができるとも認められるので今 後の支援の仕方を検討してほしい。	継続	・横手やきそばのPRに大きく貢献している団 体への交付であるが、自主財源の確保は厳 しい団体である。 ・当研究会や関係団体と協議して、活動経 費が補助金以外に可能かの検討を行う。	70,000	
24	旧簡易水道組合水 質検査補助金	旧簡易水道組合内 における安全な水の 供給を図る。	定期の水質検査にか かる検査料の一部補助	保健衛生課 (増田・平鹿 地域局)	181,000	継続	非公営水道組合に 対し、補助金の終期 を説明し、各組合自 ら水道事業を運営し ていくように促して いく必要がある。また、 全ての組合が横手 市水道計画内にあり、 水道への加入につ いて促していくよう 水道担当と連携して いく必要がある。	17	条件付 継続	・“安全な水”に視点を置くのであれば、 組合が自主的に運営費で一人立ちで できるよう指導すべき。 ・仮に地下水汚染が懸念される地域で あれば、行政が水道管の布設を含め、 上水道へ切り替えを促すべき。	継続	・組合が自主的に運営できるように5年間で 指導していきたい。 ・旧簡易水道組合及び旧小規模水道組合を 含む公共水道未普及地域については、地 域要望を把握しながら公共水道の未普及 地域の解消に向け、横手市水道事業整 備計画に基づき、今後も計画的に整備 を進める。仮に急激な水質の悪化や水 量の低下により水に困窮する地域が発 生した場合には、地域要望を把握した 上で、事業計画を見直すなど、早期の 整備に努めていく。	303,000	対象地域:平鹿地域、増 田地域
25	旧小規模水道組合 等水質検査補助金	旧小規模水道組合 等内における安全な 水の供給を図る。	定期の水質検査にか かる検査料の一部補助	保健衛生課 (平鹿地域局)	111,000	継続	非公営水道組合に 対し、補助金の終期 を説明し、各組合自 ら水道事業を運営し ていくように促して いく必要がある。また、 全ての組合が横手 市水道計画内にあり、 水道への加入につ いて促していくよう 水道担当と連携して いく必要がある。	18	条件付 継続	・“安全な水”に視点を置くのであれば、 組合が自主的に運営費で一人立ちで できるよう指導すべき。 ・仮に地下水汚染が懸念される地域で あれば、行政が水道管の布設を含め、 上水道へ切り替えを促すべき。	継続	・組合が自主的に運営できるように5年間で 指導していきたい。 ・旧簡易水道組合及び旧小規模水道組合を 含む公共水道未普及地域については、地 域要望を把握しながら公共水道の未普 及地域の解消に向け、横手市水道事業 整備計画に基づき、今後も計画的に 整備を進める。仮に急激な水質の悪 化や水量の低下により水に困窮する 地域が発生した場合には、地域要望 を把握した上で、事業計画を見直す など、早期の整備に努めていく。	234,000	平鹿地域
26	横手市元気な地域 づくり事業補助金	地域活性化活動の推 進を図る。	地域イベント、地域資 源再生、人材育成、環 境美化推進等の実施 に係る経費の一部補助	地域づくり 支援課	11,100,000	継続		19	条件付 継続	・補助金の重要度に対し満足度が低い ので、事業主体は原因を考えるべき。 ・補助金を“地域づくり”に有効利用 するために事業効果検証を担当課で 行なうべき。 ・地域づくり協議会の活動内容の周知 が必要。 ・補助金のルールを作ってほしい。	継続	・満足度の低さは周知不足に起因。平成22 年度事業及び23年度当初事業につ いて市報、HP、回覧等により周知徹 底を図る。 ・実施事業について地域づくり協 議会と行政とで評価を実施すると ともに、補助ルールについても同 協議会において協議する。	30,180,000	

H22 対象 事業 No	補助金等の名称	交付目的	補助事業等の内容	所管課	H21年度 実績額	担当課方針 (審査会前)	補助金審査会			最終方針 (今後の取り扱い等)	H23年度 予算額 (単位:円)	参考		
							今後の方針	評価点	審査結果				付された意見等	
27	新規就農者支援事業補助金	新規就農者対策、雇用対策として農業の担い手を確保育成し市の農業振興に資する。	新規就農希望者が農業技術等の習得のため研修する際研修生、研修生受入法人等、双方に助成	農業政策課	13,950,000	継続		18	条件付継続	・未就農者に対する補助金返還を含めた要件の設定が必要。 ・受け入れ側に対する補助金額の設定を検討すべき(1人当50,000円を乗ずる考え方で良いのか) 【その他の意見】 就農に関する解決策の一環として重要である。	継続	・正当な理由以外で就農しないケース等については、返還するように条件を設定する。 また、就農に導くために、研修終了後のサポート活動で啓発、事後指導を実施する。 ・事業開始当初は雇用対策と新規就農者支援の2つを目的としていたが、平成23年度以降については新規就農者支援に目的を絞り、補助金額の設定や要件等の見直しを行い事業を実施する。具体的には農業法人等で6ヶ月以上研修を行い、営農に必要な基礎知識や生産技術を習得する研修生に対して研修奨励金として1人月額100,000円、受入先に対して受入研修生1~3名の場合は月額40,000円、同4~6名は月額80,000円、同7~10名は月額120,000円を助成する。	16,800,000	
28	コミュニティFM支援事業補助金	コミュニティFM局の開局に向けた取組みを支援し、地域の活性化、産業振興、防災等に利用可能な情報手段の整備を図る。	コミュニティFM局開局に向けての電界調査、同期方式中継局開局のためのコンサルティング、放送用鉄塔設備等の整備に係る経費の一部補助	情報政策課	1,500,765	継続		20	条件付継続	・防災など緊急時の利用も視野にあるのであれば、視聴エリアの拡大と併せ、緊急時に自動でONになる端末機などとセットで検討すべき。	廃止	【方針転換・直営により実施(起債を活用するため)】 ・中継局整備については、放送局への補助金支出による整備ではなく、市が直接整備する方向で調整している。 ・自動受信の端末については、中継局整備による聴取範囲の拡大とあわせて実施できるよう予算措置する。	0	(委託料)112,394千円
29	小規模土地改良事業費補助金	土地改良事業の促進。	区画整理事業、畑地かんがい事業、老朽ため池事業	農林整備課	0	継続	国・県の補助事業に該当する地域の整備は進んできているが、中山間地域等の条件不利地域での基盤整備は立遅れ地域間格差が広がるなか、格差を解消し、耕作放棄地を抑制するためにも、今後も継続したいと考える。	19	条件付継続	・事業手法や事業効果など検証するためには、何をねらいとするのか視点が大切である。 ・環境の側面から事業を捉えても良いのではないかと。	継続	国・県補助事業に該当しない小規模事業を対象とした事業で、土地改良区等が主体となることから農業生産基盤の整備を中心とし、生産性の向上を目的として進めたい。 環境の側面については、下記の30、31で検討していきたい。	0	
30	小規模農業基盤整備事業費補助金	条件不利地域等の農業基盤及び農村生活基盤の強化を図る。	農道、用排水路(揚水ポンプ含む)圃場整備(畑地化、客土、暗渠含む)	農林整備課(増田・大雄・山内地域局)	0	継続	農業生産基盤の整備に地域間格差が広がりつつあることから、解消のため、今後も継続したいと考える。	19	条件付継続	・事業手法や事業効果など検証するためには、何をねらいとするのか視点が大切である。 ・環境の側面から事業を捉えても良いのではないかと。	継続	土地改良区管理外の条件不利地域等での事業への補助であるが、農業生産性の向上を基本に、生活環境向上にも効果が期待できることから、申請農業者団体と協議しながら進めていきたい。	400,000	事業要望地域:山内地域
31	水路整備事業費補助金	水路整備の促進。	多目的水路整備事業	農林整備課(十文字地域局)	0	継続		19	条件付継続	・公衆衛生など環境の側面から事業を検討してもよいのではないかと。	継続	土地改良区で管理している施設の整備であるが、生活環境面での効果も考えられることから、事業・管理主体の土地改良区と整備について、双方で協議しながら進めていきたい。	700,000	事業要望地域:十文字地域
32	横手やきそば暖簾会補助金	通年を通した誘客推進を図り、地域産業の振興と経済の発展を図る。	横手やきそば暖簾会が行う事業にかかる経費の一部補助	観光物産課	0	継続		-	廃止	・補助効果が認められ、自主財源も確保できているなど良い意味で所期の目的を達成している。今後、課題発生時に新たに対応。	廃止	ロイヤリティ収入増により補助金に頼らずとも会の運営は可能である。よって要綱は廃止する。	0	
33	増田町観光ガイドの会補助金	増田町案内人観光ガイドの会の運営の推進を目的とし、増田地区の案内人としての活動を助成することにより観光の振興を図る。	増田地区の案内人の活動にかかる経費の一部補助	観光物産課	34,000	継続		-	廃止	・補助効果が認められ、所期の目的を達成している。団体の活動は評価に値する。今後、課題発生時に新たに対応。	廃止	近年の内蔵の常時公開によりガイドの会に対する需要が増加しており、合わせて収入増の傾向となっている。 よって、予算的には自立している団体であるが、補助金交付要綱は廃止するが、会の育成やさらなるホスピタリティ向上を目的とした研修会等は実施し、行政としてのバックアップ体制は図りたい。	0	

H22 対象 事業 No	補助金等の名称	交付目的	補助事業等の内容	所管課	H21年度 実績額	担当課方針 (審査会前)	補助金審査会			最終方針 (今後の取り扱い等)	H23年度 予算額 (単位:円)	参考
							評価点	審査結果	付された意見等			
34	認定農業者連絡協議会活動費補助金	認定農業者相互の技術交流、連絡並びに協調の強化による横手市農業の振興を図る。	横手市認定農業者連絡協議会の活動経費の一部補助	農業政策課	0	廃止		-			0	
35	伝統行事育成事業補助金	伝統行事の育成及び保存を推進することにより横手市の観光の発展を図る。	伝統行事の育成及び保存にかかわる諸経費の一部補助	観光物産課	0	廃止		-			0	
36	芝桜まつり補助金	観光資源としての大松川ダム公園のシバザクラを観光面と商業面での有効活用を図り、交流人口の拡大を図る。	芝桜まつり開催に係る経費の一部補助	観光物産課	0	廃止		-			0	
37	山内杜氏組合補助金	山内杜氏組合の運営の円滑化を図る。	山内杜氏組合運営費の一部補助	山内地域局(観光物産課)	300,000	継続		-		H22年12月2日:本来、平成22年度審査会に諮るべき案件であったが、観光物産課及び山内産業建設課との意思疎通不足により、廃止案件としたため、審査会から漏れたことが判明。担当課(山内産業建設課)として、平成23年度以降も継続したい意向であるため、平成23年度の審査会で意見を伺うこととする。	300,000	
38	D51管理運営費補助金	SL・D51の展示により横手市の観光振興を図る。	SL・D51の維持、修繕等にかかる諸経費の一部補助	観光物産課	99,500	廃止		-			0	横手市観光協会補助金に統合
39	へら鮎釣り大会補助金	横手公園内に有るばら園の開園に伴い、へら鮎釣り大会を開催し、横手市の観光振興を図る。	へら鮎釣り大会の実施にかかる諸経費の一部補助	観光物産課	54,000	廃止		-			0	
40	全県囲碁大会補助金	横手公園内に有るばら園の開園に伴い、全県囲碁大会を開催し横手市の観光振興を図る。	全県囲碁大会の実施にかかる諸経費の一部補助	観光物産課	0	廃止		-			0	
41	全県将棋大会補助金	横手公園内に有るばら園の開園に伴い、全県将棋大会を開催し横手市の観光振興を図る。	全県将棋大会の実施にかかる諸経費の一部補助	観光物産課	0	廃止		-			0	
42	横手市安全・安心・住みよいまちづくり事業補助金	地域における安全で安心な生活環境を構築するため、環境の整備や安全対策の推進を図る。	生活環境整備、地域資源の再生・魅力アップ、安全・安心対策等の実施に係る経費の一部補助	地域づくり支援課	3,621,000	廃止		-			0	
43	林道事業費補助金	森林の適正な管理と保育活動の基盤となる林道等の整備による林用振興を図る。	地域の林業活動の活性化を図るために整備された林道の受益者負担の軽減	農林整備課(増田地域局)	374,667	廃止		-			0	
44	地域で創る映画製作支援事業補助金	横手市とゆかりのある住民・団体による横手を舞台とした映画の製作活動を支援することにより、元気の出る地域づくりの形成を図る。	映画製作事業に係る経費に対する一部補助	経営企画課	1,500,000	廃止		-			0	

H22 対象 事業 No	補助金等の名称	交付目的	補助事業等の内容	所管課	H21年度 実績額	担当課方針 (審査会前)	補助金審査会			最終方針 (今後の取り扱い等)	H23年度 予算額 (単位:円)	参考
							評価点	審査結果	付された意見等			
45	亀田地域森林整備 事業補助金	亀田地域の森林の健 全な育成を図る。	森林育成に係る除伐、 保育等の経費の一部 補助	増田地域振興 課	211,000	廃止		-			0	
46	東北B-1グランプリ in横手事業実施補 助金	平成22年10月に開催 される東北B-1グラン プリin横手を通じ、全 国へ向けた横手市の 情報発信と交流人口 の増加を図る。	東北B-1グランプリin横 手の実施に係る諸経費 の一部補助	観光物産課	0	廃止		-			0	
47	第55回秋田県理容 競技大会補助金	理容組合員の技能水 準の向上、地域による 技能格差の解消、消 費者需要への的確な 対応による地域全体 の顧客サービスの向 上を図る。	第55回秋田県理容競 技大会大会の実施に 係る経費の一部補助	商工労働課	0	廃止		-			0	
48	高松宮賜杯第54回 全日本軟式野球大 会事業費補助金	全国大会規模のレベ ルの高いプレーをま じかに観戦する機会を 得ることで、競技力の 向上、地域社会の発 展に寄与する。	高松宮賜杯第54回全 日本軟式野球大会開 催に係る経費の一部補 助	スポーツ振興課	0	廃止		-			0	
49	横手市きのこ培養 センター攪拌機購 入事業費補助金	横手市きのこ培養セ ンターが購入する攪 拌機に助成すること により、地域のきのこ 産業の振興を図る。	攪拌機購入に係る経 費の一部補助	大森産業建設 課	0	廃止		-			0	
50	高齢者福祉施設介 護業務就労サポ ート事業補助金	離職者の介護業務関 係資格取得及び市内 の介護保険施設等 における介護業務への 従事を支援する。	現在離職している者 が、2級訪問介護員の 資格を取得した場合に おける当該取得講座受 講料として支払った額 の一部補助	社会福祉課	9,562,754	審査対象 外		-			5,000,000	100千円×50人
51	横手市住宅リ フォーム促進事業 補助金	市民の生活環境の向 上及び定住促進に資 するとともに経済危機 対策として市内産業の 活性化及び雇用の創 出を図る	自己の所有する住宅 を、市内の事業者を利 用して修繕、補修及び 増築の工事を行った者 に対し、工事費の一部 を補助。	建築住宅課	168,845,000	審査対象 外		-			100,000,000	制度の詳細は検討中
52	横手市住宅用太陽 光発電システム設 置事業費補助金	地球温暖化防止対策 を推進するため、太陽 光発電システムの普 及促進を図り、市民の 環境活動への参加を 促進するとともに、新 エネルギー分野にお ける市内事業者の育 成及び地域経済の活 性化を図る。	住宅用太陽光発電シ ステム設置事業費の一 部を補助	経営企画課	27,282,000	審査対象 外		-			10,000,000	積算内訳 1kw当50千円×50住宅 ×4kw(平均kw数)

参考 1項目当りの評価点(5段階評価)
5点…認められる
4点…やや認められる
3点…どちらとも言えない
2点…やや認められない
1点…認められない

参考 評価点計(5項目の計)
21点以上…継続
20点～13点…条件付き継続
12点以下…廃止

単位:事業、円

項 目	当初方針 (A)		審査会意見 (B)		最終方針 (C)		比較1((B) - (A))		比較2((C) - (A))	
	事業数	H21年度 補助実績ベース	事業数	H21年度 補助実績ベース	事業数	H21年度 補助実績ベース	事業数	H21年度 補助実績ベース	事業数	H21年度 補助実績ベース
H22 審査対象総数	48	91,455,932	48	91,455,932	48	91,455,932	0	0	0	0
うち 継続事業	33	85,895,765	31	85,861,765	27	82,600,000	2	34,000	6	3,295,765
廃止事業	15	5,560,167	17	5,594,167	21	8,855,932	2	34,000	6	3,295,765
審査対象外(前年審査等)	4	205,989,754	-	-	-	-	-	-	-	-